

小さな改善100の積み重ねで見たコト

- 屋号・法人名等 ふるた梨ぶどう園
- 氏名 古田優子
- 所在地 周南市
- 生産品目 梨、ぶどう
- 就農年 2011年



○経営改善のきっかけ

果樹経営の中で、重いものを持つ作業が続くことでの腰痛問題や、規格外商品が出ること、また宅配便の出荷・事務作業のミスが多く、効率が悪いことなど多くの問題を感じており、自分なりに工夫をしていたが、課題解決が進んでいなかった。

令和4年度に県の「女性が働きやすい農林漁業経営体づくりセミナー」に参加し、仲間と共に経営改善について研修を受けたことがきっかけで、改善に取り組むこととなった。

○経営改善の取組内容

(1) 収穫・調整作業による腰痛問題…高齢化に対応した作業方法の改善を実施

- ・梨を収穫したコンテナを2人1組で運搬するルールづくり
- ・電動剪定鋏、電動のこぎり、チェーンソーの導入
- ・作業補助ベルトやアシストスーツの導入

(2) 規格外商品等の販売力の強化

- ・規格外の粒ぶどうを販売する時、「値引きすると、お客様が翌年から値引きを待つようになるため、増量でお得感を出したほうが良い」という講師の助言で、「期間限定 増量中♥」シールを作成して貼付



良い」という講師の助言で、「期間限定 増量中♥」シールを作成して貼付

期間限定
増量中



アシストスーツ着用

(3) 梨の差別化商品とおすそ分け用包装紙の作成



- ・新たな加工品開発として規格外のぶどうと梨のシロップを委託製造

(3) 出荷・事務作業の効率化

- ・便利道具を購入…お札カウンター、三つ折り機など
- ・事務3人体制(ファックスで注文受付、PCで送り状起票、起票後のチェックと商品ごとのボックス仕分け)を実施した。
- ・顧客ごとのA4ファイルが5年分をまとめており動かすのが重いので、棚から動かすのを止めて、前年だけの資料を入れた4冊の青いホルダーを作成し、受注時にホルダーから抜き出して注文内容を書き込むように変更した。



以前の5年分のファイル



前年度分のみのホルダー

○経営改善の取組効果

- ・電動の器具を導入した結果、作業の効率が非常に上がり、身体への負担が減少した。特に母(70歳代)は作業が楽になり、高齢でも持続可能な農業になりつつある。
- ・ぶどう粒の袋詰め増量販売で、1ヵ月で35万円の売上増となった。
- ・事務出荷作業効率化で、発送が例年より早く順調に進み、問い合わせや苦情電話が激減した。また重いファイルを動かさないことで置き場所に悩むこともなくなり事務作業がスムーズになった。
- ・お裾分け用の包装紙(品種や保存方法などの情報も盛り込んだ)を作成し、宅配便に同封し、顧客から喜ばれた。
- ・新たな加工品2商品が、JR 徳山駅の TSUTAYA 等で販売開始された。
- ・全体売上が増加した。



新たな加工品シロップ

○今後の経営改善への取組意向

短期・中長期の改善計画を作成し、計画的に経営改善に取り組む。

(1) 短期目標(2年以内)

- ・高齢化に対応した作業方法の改善
- ・購買意欲のわく店舗づくり
- ・規格外品や余剰品の売売
- ・PCデスクトップの整理
- ・梨加工品の新たな販路開拓
- ・便利な電子機器の導入による作業の効率化

(2) 中長期計画(5~10年)

- ・新たな雇用を探し続ける
- ・作業マニュアル作り
- ・果樹棚の設備更新
- ・秀品率や人気の高い品種への移行
- ・年間20日の休日取得
- ・顧客満足度の向上とブランド力向上
- ・地球温暖化対策(品質管理)
- ・園地継承に向けての準備